

単位修得チェッカーを改造したい人へ

これは、チェッカーを改造したい人が、もろもろのシステムがどうなっているかを調べるときに読むものです。チェッカーを使うだけなら、これを読む必要はありません。あと、しばらくしてから自分で改良するときに、どんな仕組みだったか忘れてしまうので、覚書としての役割もあります。

初めに言っておきますが、別に私はエクセルが得意なわけではありません。だから、非常に効率の悪い構造になっているのは、百も承知です。得意な人が見たら、なんだコレ、と笑い出すと思いますが、そういう人は改良に協力してください。

さて、チェッカーで一番な大事なことは正確性です。マニュアルでも注意してありますが、このチェッカーを信じて履修登録をしたのに、卒業時になってこのチェッカーが間違っているということが発覚して、使用者が卒業できないのでは、責任の取りようがありません。

では、具体的な中身ですが、これを読んでいるのはエクセルがそれなりにできる人です。チェッカーのセルをあれこれ調べれば、大体わかると思うので、わかりにくい（＝私がアホなことをしている）部分だけ書きます。

まず K19 ですが、これは TRUE が 1、FALSE が 0 を返すようになっていて、1 ならば B16 の「その他」が黄色になるようになっていきます。なぜかわかりませんが、条件つき書式の条件式のところに、関数が使えませんでした。

次に K20, L20, K21, K22 です。ここが一番苦勞した点で、「その他への充足分」をどのように振り分けるか、これが最大の問題点でした。専門に回せるのは共通教育系から 4 単位、専門基礎から 4 単位だけなので、このリミットをどう反映させるか、最後まで悩みました。結局、この振り分けの組み合わせが必ずしもただ一つに定まらない※ので、仕方なく別のシートで組み合わせを作って VLOOKUP 関数で参照しています。共通教育系のその他への充足分の和をアルファベットに置き換え、専門基礎の和は数字のままにして、くっつけて参照に利用しています。わざわざアルファベットに置き換えたのは、「112」では「1-12」なのか「11-2」なのかわからないからです。この辺に関して、改善案がほしい。

※例を挙げます。例えば共通教育系が 10 単位、専門基礎が 7 単位余っているとしましょう。この人は努力家です。なるべく専門に各系統から 4 単位ずつ出したい。（つまり、専門基礎から 6 単位を般教のその他の枠に使うと、専門に 1 単位しか出せず、無駄が出る）。そこで、専門の 4 単位×2 を除くと、共通教育系が 6 単位、専門基礎が 3 単位、この合計 9 単位で般教のその他の 6 単位を作ればいい。そうしたときに、（共，専）＝（6，0），（5，1），（4，2），（3，3）とい

う 4 通りが考えられます。

このバージョンでは共通教育系科目が 11 単位，専門基礎教育科目が 10 単位まで（余り＝その他への充足分の話です）しか対応していませんが，まあそんなにたくさん単位を取る人も，とりあえず 1 年終了時点ではないだろうということで，妥協しております。今後，増やすかもしれません。別に増やすのはそんなに大変なことではないのですが。

まああとは，別にそんなに大したことではないので，いいと思いますが，もし何かわけのわからんところがあれば，@fullcount120 に聞いてください。

おしまい。



なんか知らぬ間に，Microsoft の「クリップアート」ってなくなったんですよね。あのわけわからんタッチの絵が好きだったのに。残念。あっ，今は「いらすとや」の時代か^^;

